

全国 SSH 指定校生徒と交流 —SSH 全国生徒研究発表会—

- ◇期 日：令和6年8月7日（水）・8日（木）
- ◇場 所：神戸国際展示場（兵庫県神戸市）
- ◇参加者：3学年理数科学科生物班生徒2名
- ◇引 率：本校生物科 中村拓彦先生

全国の SSH 指定校の生徒が神戸の地に集まり、数学 情報、物理、化学、生物 A、生物 B、地学の 6 つの分野に分かれて日頃の研究の成果を発表した。

1 日目にはポスター発表を行った。私たち 2 人は、SS 発展探究の授業で 2 年生の時から続けている「ナメクジの行動と記憶」に関する研究を発表した。ポスター発表では、多くの参加者が私たちの発表を聞いてくださり、全国各地から訪れた生徒や高校の先生と活発に議論し、研究に関してアドバイスをいただいた。また、他の学校の研究発表を聴き、ポスターセッションの方法や研究手法についてたくさんの学びがあり、他の高校の生徒と交流し刺激を受けることができた。



2 日目には、前日のポスター発表の審査で選ばれた、6 つの分野それぞれの代表校 6 校が全体発表を行った。私たちはナメクジを用いた動物の行動に関する研究を行ったが、同様に動物の行動実験を行っている研究班が優良賞を受賞していた。彼らの用いた実験手法や研究のプロセスには目を見張るものがあり、自分たちの研究の至らなさを感じつつも、もっと研究を深められるのではないかと更なる可能性に思いを馳せた。

2 日間の大会を通して、研究の面白さを改めて実感し、今後のモチベーションにつながった。今後、大学での研究において、今回得たことを生かしていきたいと思う。